

庁議の概要

開催日 平成 22 年 9 月 14 日 (火)

◎項 目

- 1 平成 21 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題（暴力行為・いじめ・高校長欠・中途退学）に関する調査結果の報告について【教育委員会事務局】
- 2 11 月の広報計画について【総務部】
- 3 各部局等の動向について【各部局等】

◎内 容

- 1 平成 21 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題（暴力行為・いじめ・高校長欠・中途退学）に関する調査結果の報告について【教育委員会事務局】

教育委員会事務局から平成 21 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題（暴力行為・いじめ・高校長欠・中途退学）に関する調査結果について報告を行った。

【概要説明】

- ・平成 21 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について、全国と比較したワースト順位は、暴力行為が 7 位、いじめが 33 位、高等学校の不登校が 17 位、中途退学が 11 位という状況。
- ・小中学校の不登校は年々全国との差が縮まってきている。
- ・暴力行為は全国と比べると多いが、現在下げ止まりとなっており、全国と比較したワースト順位についても平成 17、18 年度はワースト 1 位、平成 19 年度はワースト 2 位、平成 20 年度はワースト 5 位、平成 21 年度はワースト 7 位と少しずつ改善をされてきている。なお、全国的には増加の傾向にある。
- ・いじめは全国に比べて少ない状況が続いている。
- ・高等学校の不登校は、これまで全国よりも少なかったが、平成 21 年度は増えている。全国ワースト順位についても平成 17 年度は 39 位、平成 18 年度は 37 位だったものが平成 19 年度に 9 位まで上がり、平成 20 年度は 28 位、平成 21 年度は 17 位。
- ・中途退学は年々減少傾向にあり、全国並みにはもう一息という状況である。ワースト順位においても平成 21 年度は 2 けた台に到達した。
- ・現在、不登校対策に力を入れており、根本的な問題解決対策として、幼児教育や、小学校段階における放課後の子どもの居場所づくり、学び場づくり、あるいは道徳や体験学習など総合的に取り組んでいる。対症療法として緊急に取り組むと同時に問題解決型の取り組みも必要である。
- ・また、高知県は少年の犯罪比率が非常に高い。学校の組織経営も含めて総合的な対策が必要だと考えている。

【意見交換】

- ・暴力行為といじめのワースト順位が重なっていないのはなぜか。
→暴力行為について分析すると、高知県の場合は発達障害の児童生徒が、1 人で何十件も占めているというケースがあり、数字上、小学校で減って中学校で増えたのは、その児童生徒が中学へ進学したことが背景にある。このことから考えると、暴力によるいじめの件数は少なく、うっぷんのはげぐちとしての暴力行為が多い傾向にある。
- ・中途退学が平成 19 年度に非常に多かった背景は高等学校の入試が影響をしている。当時、定数内の不

合格者を出さないようにという県教育委員会の大きな方針があり、高等学校への進学が厳しかった生徒が入学後すぐに学習意欲をなくして退学していくケースが多く、現場が大変混乱したため、各学校の経営方針も踏まえてその方針は緩和させた。現在では退学者は減ってきている。

2 11月の広報計画について【総務部】

総務部から11月の広報計画について説明を行った。

【概要説明】

・10月分までの変更点だが、9月の新聞広告では19日に新図書館整備に関して全面を使って、整備の基本的な考え方やQ&A方式で疑問に答えるような形で掲載する。また、9月の「おはようこうち」では26日に民生委員の活動を取り上げる予定にしていたが、知事の出演により、9月議会の諸課題のうち、特に新図書館整備に関して説明をしていただく。また、10月分では、当初31日には「土佐の魚の消費拡大」を取り上げる予定だったが、1周年となるオランダ・ウェストラント市との環境保全型農業の友好協定の内容に差し替えた。

・広報紙「さんSUN高知」の特集は、9月補正予算の重点事業（ポスト龍馬博、図書館、ナイター設備、ドクターヘリなど）について取り上げる。また、県政ピックアップでは11月20日から3日間行われる全国生涯学習フォーラムの内容を重点的に取り上げる。

・テレビの「おはようこうち」では、7日はポスト龍馬博について、14日は全国生涯学習フォーラムについて、21日は地域産業担い手人材育成事業の高校生企業研修について、28日は10月分で差し替えをした土佐の魚の消費拡大について取り上げる。

・ラジオ対談番組は、地域アクションプランのブロックごとの取り組み事例を2日に取り上げ、その後、成長戦略のこれまでの取り組みと今後の重点的な取り組みをシリーズで分野ごとに取り上げていきたい。11日は「こうち山の日」関連事業の取り組み内容、18日は全国生涯学習フォーラムについて、25日は婚活サポーター養成の取り組みについて紹介する。

・「県民ニュース」の対談形式では「こうち山の日」の関係のイベントと高齢者の交通事故防止について、アナウンサーの読み上げ形式では全国生涯学習フォーラムと龍馬博イベントについて重点的に取り上げる。

・12月前半に30分の特別番組で、高知型福祉のあったかふれあいセンターを中心にした取り組みと、学力向上対策の取り組みについて取り上げるよう準備している。また、1月にもポスト龍馬博に関する内容で30分番組を予定している。

(知事)

・くどいようだが、県民ニュースをうまく活用してほしい。短いスポットではあるが、視聴率は非常に高い。イベントや試験などのお知らせにとどまらず、様々な政策広報ができるように考えてほしい。また、その時々ホットな話題に対して、できる限りタイムリーに対応していきたい。今回のような変更が実際にあり得る。各部局でどうしても広報する必要があるものについて、予定が詰まっているとあってあきらめるのではなく、できる限り広報広聴課へ相談してほしい。場合によっては、私をうまく使ってもらえればいい。

3 各部局等の動向について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。